

# 疏 水 百 選

## 企画の背景

平成17年3月

# 1 . 疏水百選の趣旨

- 1) 日本三大疏水と呼ばれる安積、那須、琵琶湖疏水など歴史ある疏水の多くは農業のための用水で、その延長は約40万kmにも及び日本の農地・農村をすみずみまで潤してきました。これらの疏水は食料の安定的な供給の基盤であり、地域振興の要の役割を果たします。さらには、国土・環境保全、保健休養、美しい景観の形成など様々な役割をもった国民共有の資産です。

**そすい【疏水・疎水】** 水を流すこと。灌漑・給水・舟運または発電のために、新たに土地を切り開いて水路を設け、通水させること。また、そのもの。多くは湖沼・河川から開溝して水を引き、地形によってはトンネルを設けることもある。『広辞苑』

- 2) 疏水は、これまで農家を中心とする地域の共同作業によって守られてきました。しかしながら、近年の農村地域の過疎化や高齢化により水路の管理や定期的な草刈りや土砂上げなどの手入れが困難になってきています。
- 3) こうした疏水の役割が今後とも維持され、美しい農村の景観と国土が守られるためには、農家のみならず地域住民や人々も含めた国民全体でその保全活動に取り組み、次世代に継承していくことが必要です。こうした観点から疏水を保全する国民的運動を進める一助とするため、「疏水百選」を実施します。



地域のシンボルとなっている水路  
(山形県 二の堰)



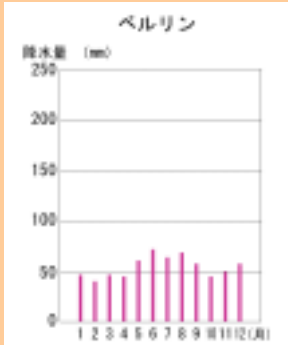
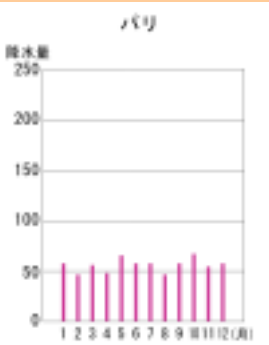
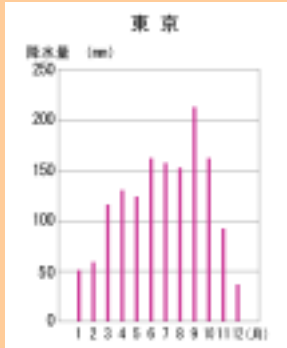
子供たちが集い、遊び場となっている水路  
(愛知県 明治用水)

## 2. 疏水の歴史

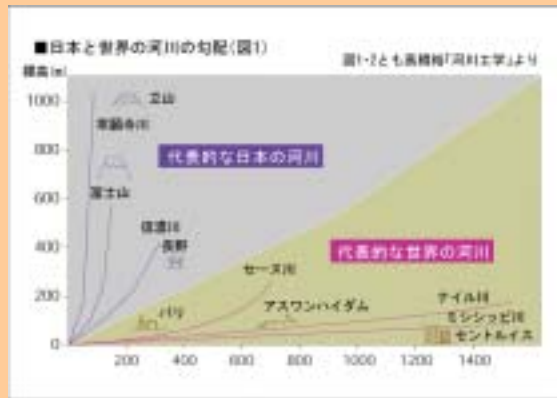
我が国は、変動の大きい降雨、急峻な地形、狭小な平野など、欧米と異なる厳しい自然条件下で水田農業を中心に発展。  
 疏水は、稲作の伝承以来、米の生産に必要な用水を確保するため、二千年にわたって脈々と築かれてきました。

### 欧米と比べると厳しい自然条件

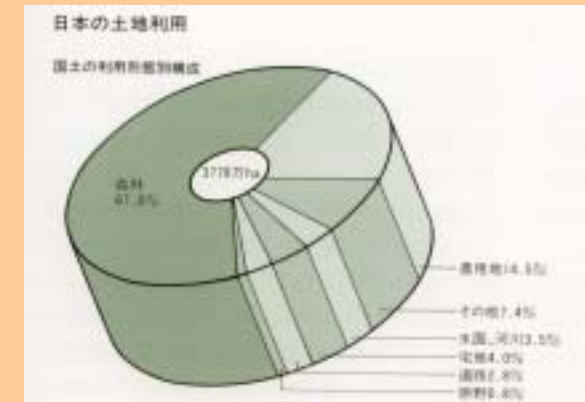
#### 変動の大きい降雨



#### 急峻な地形



#### 狭小な平野



北アルプス白馬山麓の扇状地 (富山県)

## 水を利用した水田農業の発展

## <みずほの国といわれる国づくり>

古代（縄文～平安時代）

- ・ 米の伝来
- ・ かんがいのはじまり



左図：日本への稲の伝来図

右絵：弥生時代の農耕風景

中世（鎌倉～戦国時代）

- ・ 川の氾濫原での稲づくりから水を治め利用するかんがい技術の発達



左絵：下流へ一定量の水を流す仕組みになっている古利根堰(埼玉県)

右図：安曇野(長野県)は多くの堰を設け扇状地に用水を行き渡らせた

近世（江戸時代）

- ・ 新田開発と疏水事業の発展



左絵：明治初期の利根川と見沼代用水(埼玉県)

右写真：国力増強のために大規模開墾が行われた松ヶ岡(山形県)

近代（明治以降）

- ・ 地域開発



左写真：地域振興の源となった那須疏水の第1取入口(栃木県)

右写真：多角的農業として名をはせたスイカの出荷所(明治用水)

# < 安積疏水の事例 >

## 疏水事業による食料供給基盤の整備と地域社会の形成

日本海に流れる猪苗代湖の水を流域の変更により太平洋側の安積原野に導水した安積疏水は、オランダ人技師ファン・ドールンの指導のもと、当時では最大級の国営事業として1879年から3年がかりで延長130 kmの水路が開削された。この安積疏水によって地域の農業・工業は飛躍的に発展し、新たな都市（郡山市）を形成した。



山をくりぬき安積原野に勢いよく流れ出した猪苗代湖の水



疏水によりもたらされた水で豊に実った水田



疏水の開通により安積原野は大水田地帯に生まれ変わった



当時全国で第2位の大出力をほこった沼上発電所  
この電力は郡山の工業の発展に大きく寄与した



現在の郡山市。上部奥が開拓された農地。  
福島県第2の都市。手前は新幹線も停まる駅

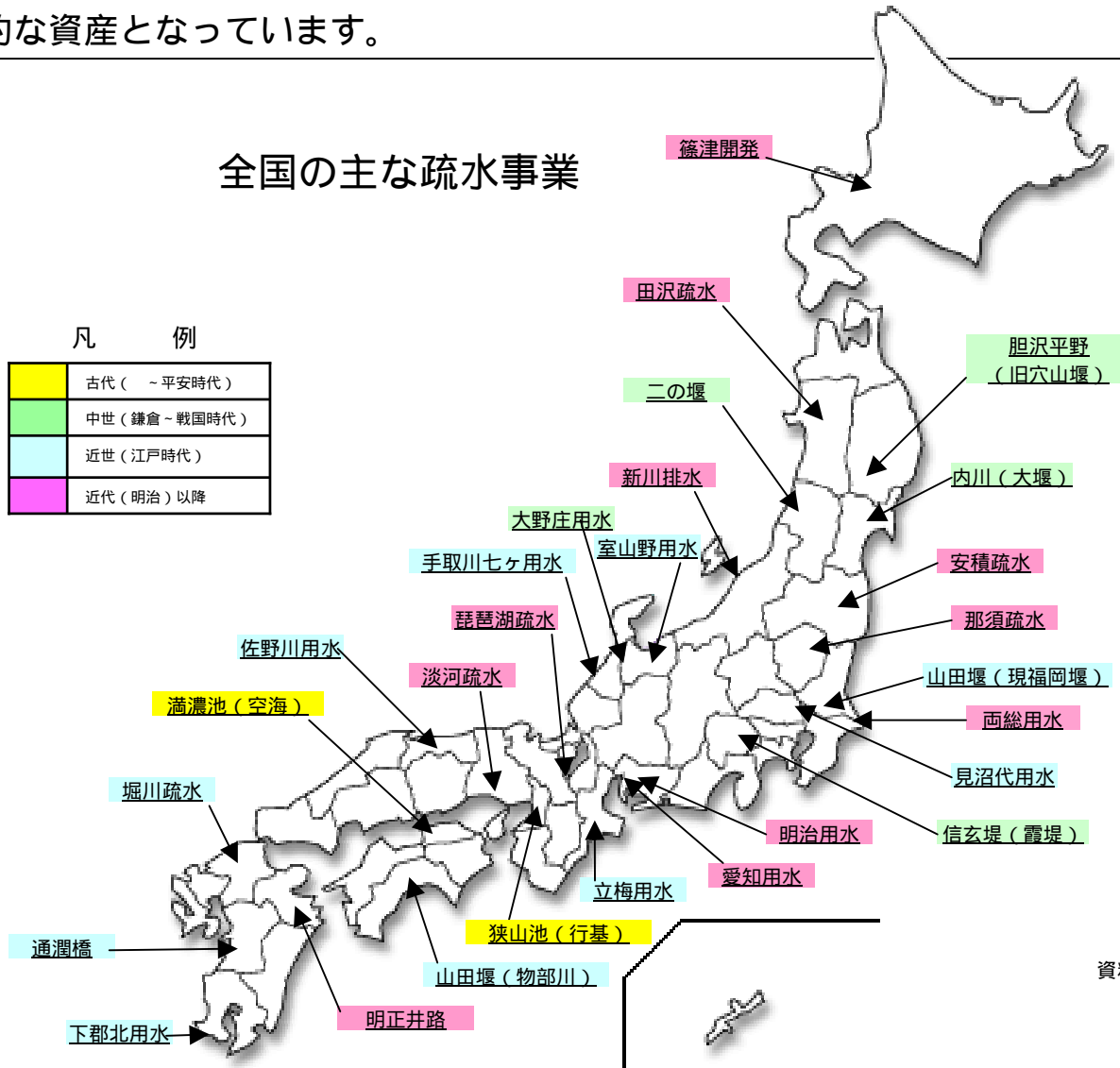
### 3 . 疏水のネットワークの形成

二千年にわたって構築されてきた疏水は、全国に及んでおり、新潟平野や宮城県の大崎耕土などの穀倉地帯を生み出し、現在の日本を形づくってきました。

全国に張り巡らされた水路の延長は約40万km、基幹的水路約4万5千km、約25兆円に及ぶ国民的な資産となっています。

全国の主な疏水事業

凡 例	
	古代（～平安時代）
	中世（鎌倉～戦国時代）
	近世（江戸時代）
	近代（明治）以降



国民生活に不可欠なライフラインとしての疏水

基幹的水路	約45,000km
一般国道 (直轄管理)	21,828km
鉄道 (JR)	20,050km

資料：一般道は「道路ポケットブック2003」国土交通省（H15.11）

鉄道は「数字で見る鉄道2003」国土交通省（H15.10）

# 4 . 疏水がもたらす多様な機能

疏水は、豊かな農業を築くとともに地域の発展に貢献してきました。  
 このような農業や農村の営みを通じて豊かな自然、美しい景観、伝統・文化等が育まれてきました。  
 疏水は、地域をつなぐと共に、疏水によりつながっている地域の人々の手で守られてきました。



豊かな農業生産



疏水により形成された町



先人の功績を伝える手堀水路



農村地域に残る伝統文化



地域住民と協働での水路清掃



水路を使った地域交流



防火用水機能



消流雪用水機能



石積み水路



生態系に配慮した排水路

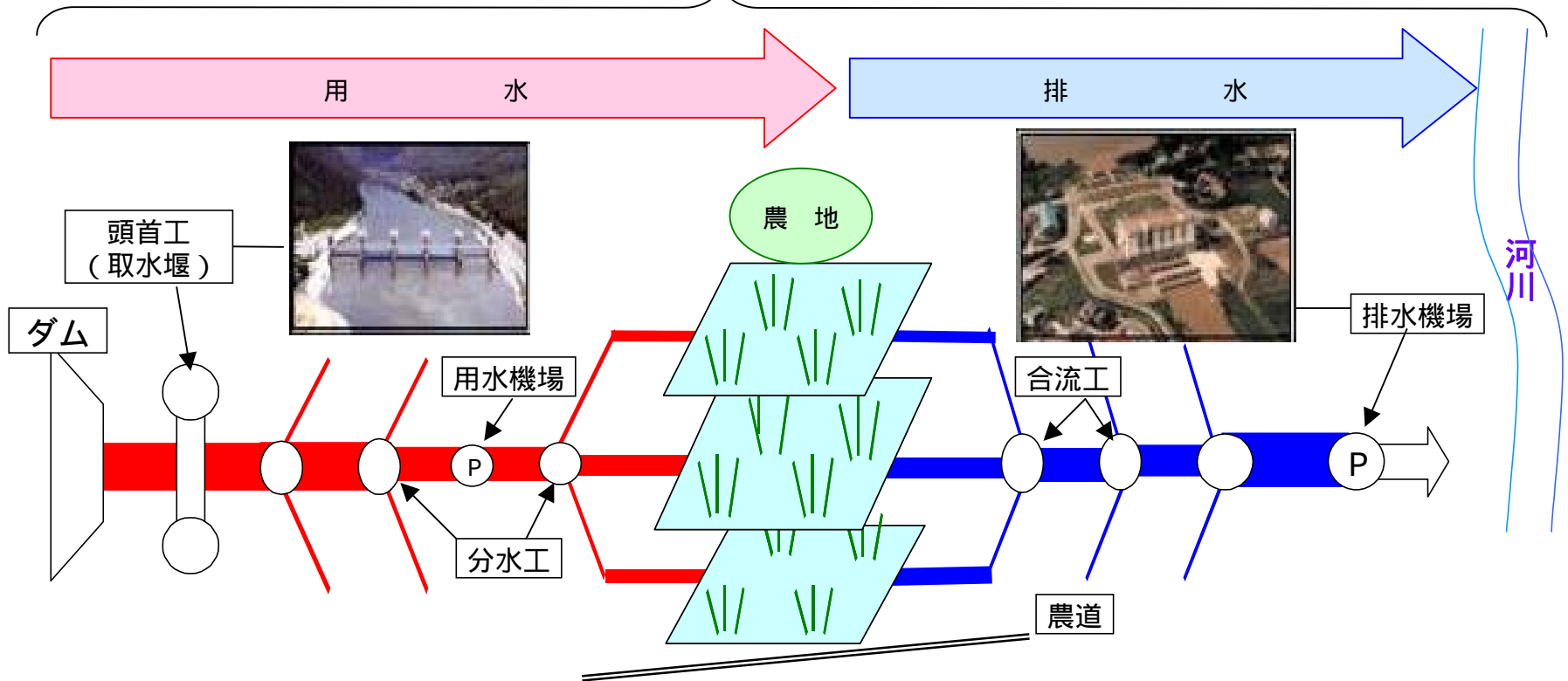


個性ある農村風景

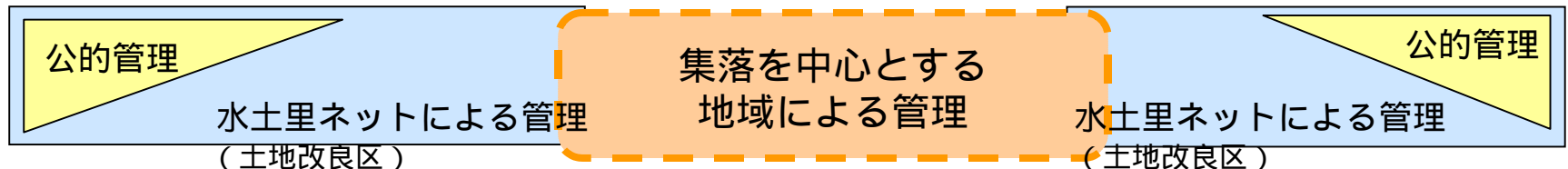
## 5 . 疏水の管理

疏水は、水源から農地まで水を供給するための連続したシステムです。基幹から末端まで一貫した保安全管理により、その機能が発揮されます。基幹施設は農家の自主的組織である水土里ネットなどの公的機関が管理を行い、末端部分については地域農家などにより管理が行われています。

### 疏水の流れ（システムの概要）



【基幹的な用水施設、取水・分水調整等】 【農地周りの水路、農道、水利調整等】 【基幹的な排水施設、排水調整等】





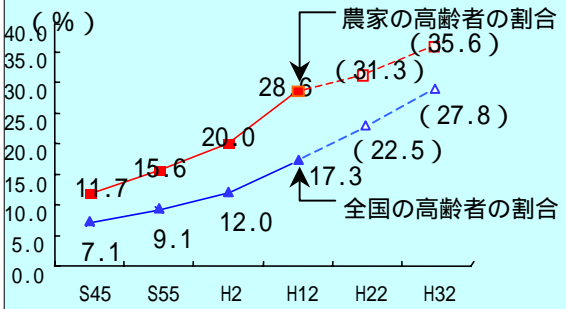
# 6. 疏水の課題等

農村の過疎化・高齢化が進み、疏水を維持管理してきた農家の減少とともに、都市化・混住化による疏水への生活排水の流入やゴミ投棄、管理の粗放化が問題となっています。このように国土の血管とも言うべき疏水ネットワークの保安全管理が困難になりつつあり、食料供給力の低下や環境の悪化が懸念されます。これは農村の問題のみならず、国民全体の問題ではないでしょうか。

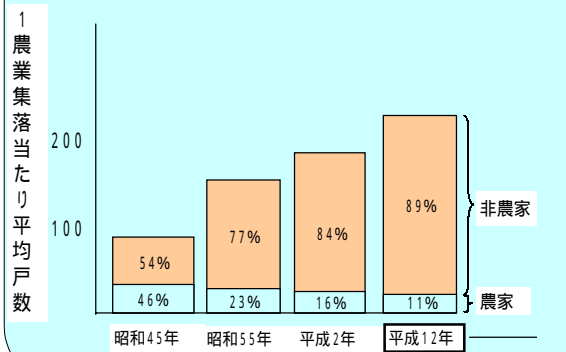
## 【 課 題 】

### 農村構造の変化

過疎化・高齢化による農家の減少・後継者不足



都市化・混住化による関心の低下・ゴミ問題の発生



共同管理体制の維持が困難化



大量の都市ゴミを農家が処理

### 今日的な社会的要請

・ 疏水などの膨大な資産の適切な保全

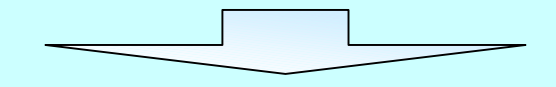


水路の保全 農地の保全

・ 環境・景観等の保全



水路周辺に花を植え、快適な空間を創出 地域の貴重種(イバラトミヨ)の生息空間を保全



### 農村地域の振興

国民全体として取り組むべき課題  
 疏水などの資産を次世代に継承

# 7. 疏水の保全に向けた取り組み

これまでに、地域で疏水を保全するさまざまな活動が進められてきています。

疏水を国民共通の財産として保全していくためには、資源保全を国民的な運動として展開していく必要があります、この一環として「疏水百選」を実施するものです。

## 各地での様々な保全活動の動き

### 美しい環境・景観の整備

水土里ネットを中心として地域住民やNPOなどと一緒に、せせらぎ水路づくりなど美しい農村景観の創出を実施。



地域住民と一緒に水路の整備

### 歴史の伝承への取り組み

疏水によって地域が拓かれた歴史的経緯や疏水の持つ多様な役割について、副読本を作成して小学校に配布。総合学習の時間を通じた歴史伝承等に取り組む。



総合学習時に小学生への歴史伝承

### 地域の協働による保全活動

水土里ネットが地域住民に呼びかけ、住民総出で清掃。地域全体で水路の維持保全に取り組む。



地域住民総出で水路の清掃

### 特色ある営農活動の推進

水土里ネットでは、循環使用される疏水の水質保全を促進するため、水路に流れ込む水の減農薬、濁水防止に取り組み、環境配慮の安全安心なお米としてブランド化。



在来魚種の放流

疏水を国民的な財産として保全していく必要性について国民理解の醸成

国民的な運動の展開